



2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年1月31日

上場会社名 前澤化成工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7925 URL <http://www.maezawa-k.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 窪田 政弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼上席執行役員管理本部長 (氏名) 伊東 正博

TEL 03-5962-0711

四半期報告書提出予定日 2019年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	16,554	1.1	545	58.0	726	35.8	515	83.9
2018年3月期第3四半期	16,379	0.1	344	56.9	535	44.5	280	52.4

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 318百万円 (62.8%) 2018年3月期第3四半期 855百万円 (5.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	34.49	
2018年3月期第3四半期	18.62	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	43,477	36,380	83.7
2018年3月期	43,901	36,514	83.2

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 36,380百万円 2018年3月期 36,514百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		15.00		15.00	30.00
2019年3月期		15.00			
2019年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,600	3.4	630	26.4	810	6.9	480	257.4	31.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	15,732,000 株	2018年3月期	15,732,000 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	778,349 株	2018年3月期	778,309 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	14,953,686 株	2018年3月期3Q	15,059,153 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度末との比較・分析を行っております。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかし国際経済においては様々な不安定要素が生じ、後半には米中貿易摩擦の影響が広がってまいりました。

当社グループと関連の深い上水道・下水道業界および住宅機器関連業界におきましては、新設住宅着工戸数が前年比で減少となりました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、管工機材分野における競合他社との競争が激しくなったことの影響がありましたが、水処理分野および各種プラスチック成形分野の受注が増加したことにより当社グループの売上高につきましては増加いたしました。

また、利益につきましては管工機材分野における主要原材料の値上げがありましたが、水処理分野および各種プラスチック成形分野の売上高増加に加え、各種プラスチック成形分野の経費を削減した効果により、また非常用浄水装置「エモータブル」の製品回収関連費用の戻りがあったことにより増加いたしました。

以上により、当第3四半期連結累計期間における売上高は165億54百万円（前年同四半期比1.1%増）、営業利益5億45百万円（同58.0%増）、経常利益7億26百万円（同35.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億15百万円（同83.9%増）となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

① 管工機材分野

売上高につきましては、重点的に拡販に取り組んだ「ビニコア」や「雨水貯留浸透槽」また付加価値の高い「基礎貫通スリーブ」等の製品が好調でしたが、「ビニマスシステム」等の製品において競合他社との競争が激しくなったこと等の影響により概ね横ばいとなりました。利益につきましては、主要原材料である塩化ビニル樹脂の値上げの影響はありましたが、経費の減少等により増加いたしました。

以上により、売上高149億15百万円（前年同四半期比0.6%減）、セグメント利益は5億97百万円（同5.9%増）となりました。

② 水処理分野

売上高につきましては、低コスト・省エネルギー化を実現する多様な水処理システムの提案活動を積極的に行った結果、食品関係を中心とした工事の新規受注を獲得できたことに加え、前連結会計年度に受注した物件の工事が堅調に進行したことにより大幅に増加いたしました。利益につきましては、売上の増加に伴い損失が減少いたしました。

以上により、売上高は3億54百万円（前年同四半期比63.4%増）、セグメント損失は95百万円（前年同四半期は、1億45百万円のセグメント損失）となりました。

③ 各種プラスチック成形分野

売上高につきましては、既存顧客からの新規受注の獲得等により増加いたしました。利益につきましては、売上高の増加に加え、人員削減による効果があったことから、大幅に増加いたしました。

以上により、売上高は15億32百万円（前年同四半期比11.8%増）、セグメント利益は42百万円（前年同四半期は、72百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べ4億24百万円減少し、434億77百万円となりました。これは主として、原材料及び貯蔵品が増加したものの、建物及び構築物や機械装置及び運搬具が減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ2億90百万円減少し、70億96百万円となりました。これは主として、未払法人税等や賞与引当金が減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ1億34百万円減少し、363億80百万円となりました。これは主として、利益剰余金が増加したものの、その他有価証券評価差額金が減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月14日に公表いたしました連結業績予想の現時点における修正はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,167	10,174
受取手形及び売掛金	5,815	5,750
電子記録債権	2,810	3,004
有価証券	1,500	1,500
商品及び製品	1,912	1,918
仕掛品	567	620
原材料及び貯蔵品	417	514
その他	548	568
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	23,739	24,051
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,031	13,056
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,212	△6,540
建物及び構築物(純額)	6,818	6,516
機械装置及び運搬具	12,325	12,377
減価償却累計額及び減損損失累計額	△10,430	△10,727
機械装置及び運搬具(純額)	1,894	1,650
工具、器具及び備品	18,066	18,091
減価償却累計額及び減損損失累計額	△17,778	△17,900
工具、器具及び備品(純額)	287	190
土地	4,543	4,544
建設仮勘定	78	159
有形固定資産合計	13,622	13,061
無形固定資産		
ソフトウェア	268	205
その他	2	2
無形固定資産合計	271	208
投資その他の資産		
投資有価証券	5,639	5,622
繰延税金資産	13	15
その他	765	667
貸倒引当金	△149	△149
投資その他の資産合計	6,268	6,156
固定資産合計	20,162	19,426
資産合計	43,901	43,477

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,375	3,451
電子記録債務	156	159
短期借入金	500	500
未払法人税等	144	44
賞与引当金	389	192
役員賞与引当金	—	12
その他	2,000	1,935
流動負債合計	6,566	6,295
固定負債		
繰延税金負債	79	87
役員株式給付引当金	—	4
退職給付に係る負債	448	426
資産除去債務	213	215
その他	79	66
固定負債合計	820	801
負債合計	7,387	7,096
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,387	3,387
資本剰余金	6,363	6,363
利益剰余金	26,459	26,523
自己株式	△895	△895
株主資本合計	35,314	35,378
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,425	1,199
退職給付に係る調整累計額	△225	△197
その他の包括利益累計額合計	1,199	1,002
純資産合計	36,514	36,380
負債純資産合計	43,901	43,477

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	16,379	16,554
売上原価	11,522	11,420
売上総利益	4,856	5,134
販売費及び一般管理費	4,511	4,589
営業利益	344	545
営業外収益		
受取利息	6	5
受取配当金	70	78
受取賃貸料	66	66
投資事業組合運用益	12	—
貸倒引当金戻入額	0	0
その他	47	45
営業外収益合計	204	196
営業外費用		
支払利息	1	1
賃貸費用	7	7
支払手数料	5	5
その他	0	0
営業外費用合計	14	14
経常利益	535	726
特別利益		
固定資産売却益	5	0
製品回収関連費用戻入額	—	60
特別利益合計	5	61
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	3	0
減損損失	0	—
ゴルフ会員権評価損	0	—
環境対策費	8	—
特別損失合計	12	1
税金等調整前四半期純利益	528	786
法人税、住民税及び事業税	192	178
法人税等調整額	55	92
法人税等合計	247	270
四半期純利益	280	515
親会社株主に帰属する四半期純利益	280	515

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	280	515
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	550	△226
退職給付に係る調整額	23	28
その他の包括利益合計	574	△197
四半期包括利益	855	318
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	855	318

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(取締役に対する業績連動型株式報酬制度)

当社は、2017年6月27日開催の第63回定時株主総会決議に基づき、取締役(社外取締役を除きます。以下同じ。)を対象とする業績連動型株式報酬制度(以下、「本制度」といいます。)を導入しております。

本制度は、当社の業績及び株式価値と取締役の報酬との連動性をより明確にし、取締役が株価上昇によるメリットを享受するのみならず株価下落リスクをも負担し、株価の変動による利益・リスクを株主の皆様と共有することで、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的としております。

(1)取引の概要

本制度は、当社が金銭を拠出することにより設定する信託(以下「本信託」といいます。)が当社株式を取得し、業績達成度等一定の基準に応じて当社が各取締役に付与するポイントの数に相当する一定数の当社株式が本信託を通じて各取締役に對して交付されるという、業績連動型の株式報酬制度です。なお、取締役が当社株式の交付を受ける時期は、原則として取締役の退任時です。

(2)信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。前連結会計年度の当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、1億44百万円、117,400株、当第3四半期連結会計期間の当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、1億44百万円、117,400株であります。

(3)総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	管工機材分野	水処理分野	各種 プラスチック 成形分野	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	14,998	216	1,163	16,379	-	16,379
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	206	206	△206	-
計	14,998	216	1,370	16,585	△206	16,379
セグメント利益又は 損失(△)	564	△145	△72	346	△1	344

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:百万円)

	管工機材分野	水処理分野	各種プラスチック 成形分野	全社・消去	合計
減損損失	-	0	-	-	0

II 当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	管工機材分野	水処理分野	各種 プラスチック 成形分野	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	14,915	354	1,285	16,554	-	16,554
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	247	247	△247	-
計	14,915	354	1,532	16,801	△247	16,554
セグメント利益又は 損失(△)	597	△95	42	544	0	545

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。